

衛研第3-33号  
平成28年11月16日

感染症発生動向調査事業  
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。  
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
3. インフルエンザ流行情報
4. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
5. 結核の届出状況（月報）
6. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
7. 全国及び関東情報
8. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当  
電話 0493-59-9325  
FAX 0493-59-9613  
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

## 感染症患者発生情報（週報）

### 埼玉県内情報 平成28年第45週（平成28年11月7日～平成28年11月13日）

**今週の注目される疾患** 図は <今週の注目される定点把握対象疾患の推移> を参照

全数把握対象疾患では、一類及び二類感染症（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症2人の届出があった。四類感染症は、レジオネラ症1人の届出があった。五類感染症は、急性脳炎2人、梅毒4人の届出があった。

定点把握対象疾患では、**感染性胃腸炎**(6.20 9.50：図1)の定点当たり報告数は、前週より大きく増加し、今後の動向には特に注意が必要である。保健所別では、全保健所管内から報告があり、川口(11.81 21.06)、鴻巣(7.50 13.50)保健所管内で大きく増加し、熊谷(16.33)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1歳が最も多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(2.06 2.59：図2)の定点当たり報告数は、4週連続して増加した。保健所別では、全保健所管内から報告があり、春日部(4.33 10.67)保健所管内で大きく増加し、東松山(5.00)、熊谷(5.00)保健所管内からの報告が多い。**流行性耳下腺炎**(0.96 1.17：図3)の定点当たり報告数は、前週より増加し、依然多い状況が続いている。保健所別では、東松山、秩父保健所を除く14保健所管内から報告があり、朝霞(2.00 3.71)、狭山(1.82 3.12)保健所管内で大きく増加した。**水痘**(0.34 0.71：図4)の定点当たり報告数は、前週より増加した。保健所別では、朝霞(0.21 1.43)保健所管内で大きく増加し、川越市(2.00)、さいたま市(1.22)保健所管内からの報告が多い。**インフルエンザ**(0.65 1.12)の定点当たり報告数は、前週より増加した。また、定点当たり報告数が1.00を越え、今シーズンの流行期に入ったと思われる。眼科定点報告対象疾患では、**流行性角結膜炎**24人(前週20人)の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**細菌性髄膜炎**1人、**無菌性髄膜炎**3人、**マイコプラズマ肺炎**24人(前週18人)の報告があった。

#### <全数把握対象疾患の患者情報>

<b>一類感染症</b>	報告なし	
<b>二類感染症</b>	報告なし（結核を除く）	
<b>三類感染症</b>	腸管出血性大腸菌感染症	2人（類型 患者2人、血清型 O157 2人）
<b>四類感染症</b>	レジオネラ症	1人（病型 肺炎型）
<b>五類感染症</b>	急性脳炎	2人（病原体 単純ヘルペスウイルス1人、不明1人）
	梅毒	4人（病型 早期顕症 期1人、早期顕症 期1人、無症状病原体保有者2人）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: [p5349952@pref.saitama.lg.jp](mailto:p5349952@pref.saitama.lg.jp) URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

< 今週の注目される定点把握対象疾患の推移 >

図1 感染性胃腸炎

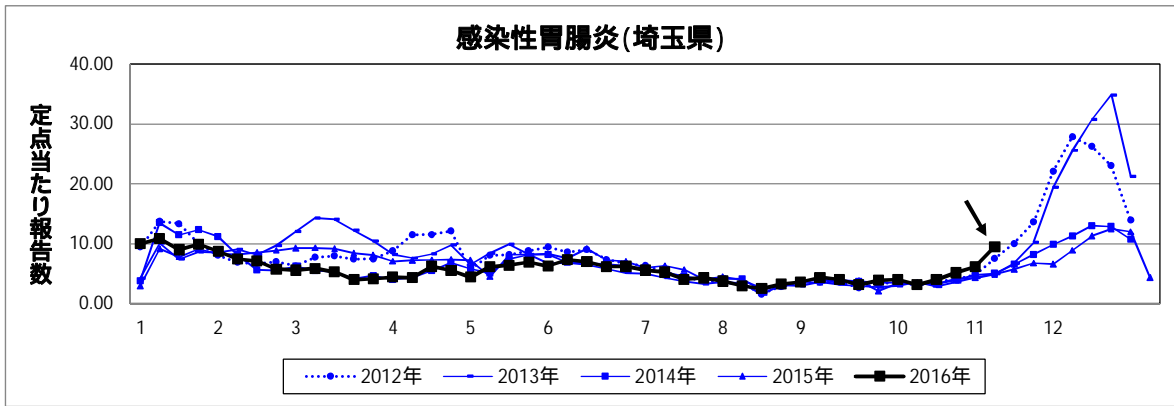


図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

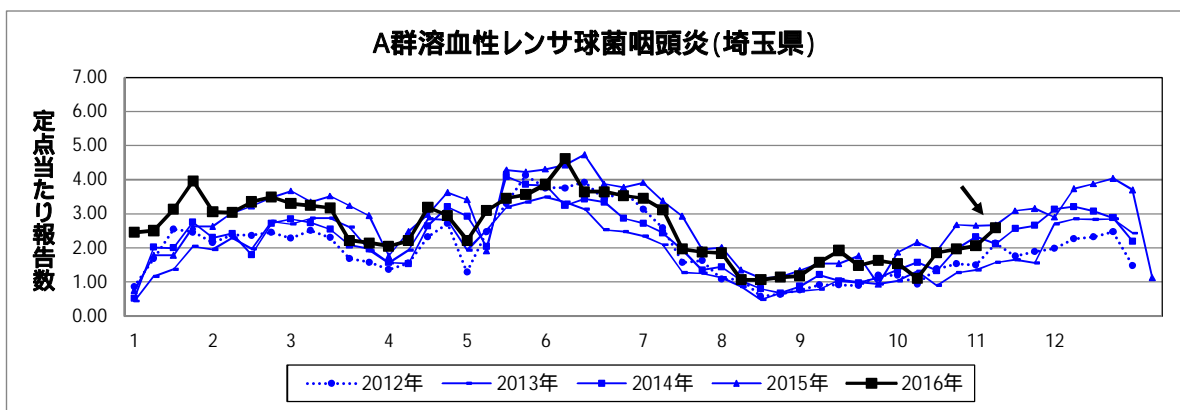


図3 流行性耳下腺炎

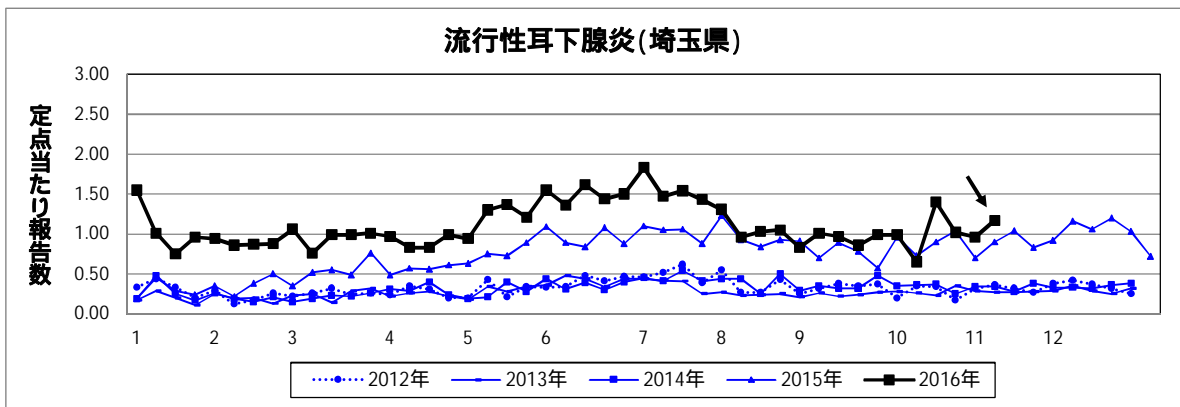
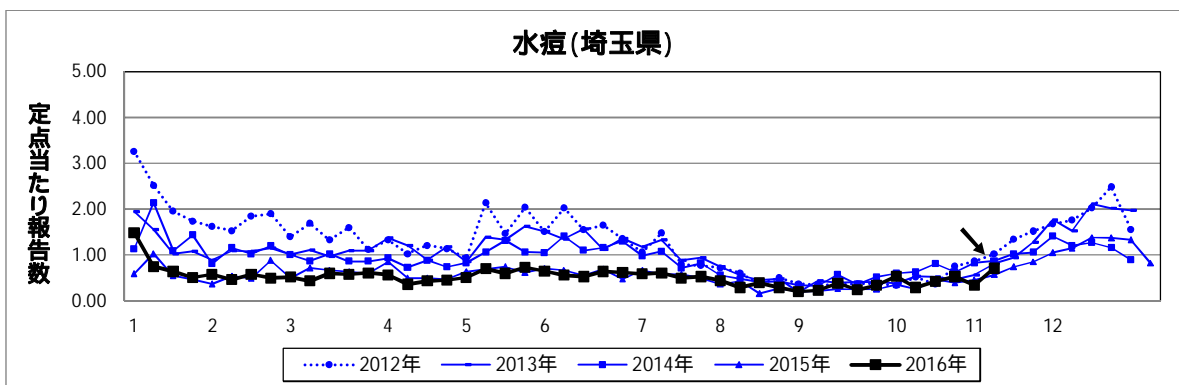


図4 水痘



## インフルエンザ流行情報

2016年第45週のインフルエンザの定点当たり報告数(0.65 1.12)は前週より増加し、定点当たり1.00を超えた。また、今週の定点当たり報告数(1.12)は、過去4年の同時期(第44~46週の平均:0.22)より高く、例年より早い流行入りとなった(図1)。保健所別では、秩父保健所を除く15保健所管内から報告があり、川口(2.24)、春日部(2.10)、幸手(2.00)保健所管内からの報告が多い。

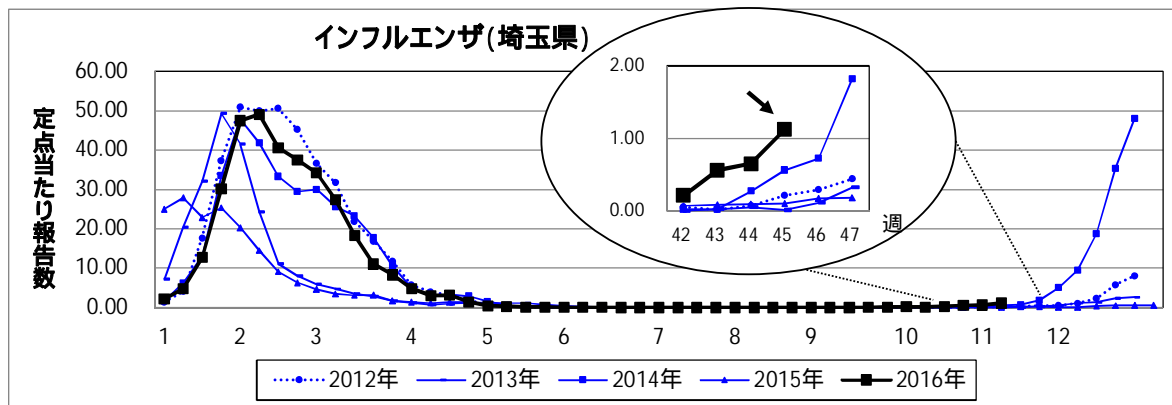


図1 インフルエンザ 定点当たり報告数の推移(2012年~2016年)

第42週(10月17日~23日)以降の4週間に、病原体定点で採取された検体からのインフルエンザウイルス検出数は、A香港型(AH3)が12件、AH1pdm09が1件で、B型の検出はなかった(表1)。また、A香港型(AH3)が検出された患者の年齢は、60歳未満に分布し、最も多かったのは5-9歳及び10-14歳の各3人であった(表2)。

表1. 第42~45週に採取された検体からのインフルエンザウイルス検出数

型	42w	43w	44w	45w	4週の合計
AH1pdm09	-	1	-	-	1
AH3	4	4	3	1	12
Bビクトリア系統	-	-	-	-	-
B山形系統	-	-	-	-	-

(-:0)

表2. インフルエンザウイルスが検出された患者の年齢階級(第42~45週、採取分)

型	年齢階級									
	0-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-
AH1pdm09	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
AH3	1	3	3	1	-	1	2	1	-	-
Bビクトリア系統	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B山形系統	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	1	3	4	1	-	1	2	1	-	-

(-:0)

感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第45週)

(2016年11月15日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢		10	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	2	162			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎		14	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
A型肝炎		6	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱	1		レジオネラ症	1	80
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		10	ロッキー山紅斑熱		
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢		44	侵襲性肺炎球菌感染症		80
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		7	水痘*		9
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		45	先天性風しん症候群		
急性脳炎	2	35	梅毒	4	157
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		6
クロイツフェルト・ヤコブ病		5	破傷風		3
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		37	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		7
ジアルジア症		1	風しん		4
侵襲性インフルエンザ菌感染症		8	麻しん		7
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		6
<b>指定感染症</b>	該当疾患は無し				

水痘\*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	5	2		

累計は診断日で集計

\* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

## 結核届出状況(10月分)

10月の届出数は、患者68人、感染症死亡者の死体1人、無症状病原体保有者41人の計110人で、前月の131人より減少したが、前年同月の111人とは同水準であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2015年10月～2016年10月)

	2015年*			2016年										累計**
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
<b>総計</b>	111	80	116	129	115	106	102	108	126	127	129	131	110	1183
<b>年齢階級</b>														
10歳未満	3	1	7	2	2	1	1	3	5	3	2	7	3	29
10歳代	1	0	1	1	5	0	1	2	2	1	3	1	1	17
20歳代	13	4	8	4	12	8	17	17	13	19	11	7	11	119
30歳代	11	5	16	7	8	9	8	6	8	9	14	14	7	90
40歳代	8	11	6	13	22	15	7	10	13	14	17	10	9	130
50歳代	9	13	13	14	8	7	10	10	14	14	14	24	17	132
60歳代	16	13	16	26	16	16	10	19	18	16	20	20	16	177
70歳代	18	15	27	32	16	25	25	19	20	14	25	18	24	218
80歳以上	32	18	22	30	26	25	23	22	33	37	23	30	22	271
<b>性</b>														
男	73	43	61	72	71	66	59	59	80	75	73	80	66	701
女	38	37	55	57	44	40	43	49	46	52	56	51	44	482
<b>類型</b>														
患者	85	63	83	70	77	73	83	71	88	87	91	99	68	807
感染症死亡者の死体	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
疑似症患者	0	0	0	2	0	0	2	3	0	2	1	0	0	10
無症状病原体保有者	26	17	33	56	38	33	17	33	37	38	37	32	41	362
<b>病型</b>														
肺結核	63	48	55	43	58	51	62	54	60	73	74	75	51	601
肺結核及びその他の結核	7	4	5	6	7	7	5	4	3	3	2	5	5	47
その他の結核	15	11	23	22	12	15	16	14	26	11	15	19	13	163
疑似症患者	0	0	0	2	0	0	2	3	0	2	1	0	0	10
無症状病原体保有者	26	17	33	56	38	33	17	33	37	38	37	32	41	362

\*:2015年の届出数は暫定値

\*\* :2016年1月からの累積届出数

10月に診断された110人を病型別にみると、肺結核では10歳未満及び10歳代を除く年齢階級から届出があり、80歳以上が18人と最も多く、無症状病原体保有者では80歳以上を除く年齢階級から届出があり、70歳代が8人、次いで20歳代及び50歳代が各7人と多かった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2016年10月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
<b>総計</b>	51	5	13	0	41	110
<b>年齢階級</b>						
10歳未満	0	0	0	0	3	3
10歳代	0	0	0	0	1	1
20歳代	3	0	1	0	7	11
30歳代	2	0	0	0	5	7
40歳代	4	0	1	0	4	9
50歳代	7	1	2	0	7	17
60歳代	6	2	2	0	6	16
70歳代	11	1	4	0	8	24
80歳以上	18	1	3	0	0	22

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 保健所別 (第45週 平成28年11月7日～平成28年11月13日)

保健所	インフルエンザ # 1		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		咽頭炎		咽A群溶血性レンサ球菌		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 # 3		感染性胃腸炎(入院)		インフルエンザ		
	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	
全	283	114	33	417	1530	114	98	7	80	-	15	189	-	24	1	3	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川	56	19	2	50	337	5	4	1	9	-	-	8	-	2	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
朝	32	10	4	41	120	20	8	1	12	-	3	52	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鴻	17	9	3	25	162	3	6	-	6	-	-	5	-	3	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
東	10	1	-	25	27	1	3	-	3	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秩	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本	1	4	3	7	8	4	-	-	2	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊	3	8	2	45	147	2	7	1	2	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加	5	6	-	2	12	2	3	-	5	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
春	21	2	5	64	23	3	15	1	3	-	1	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幸	28	8	5	15	22	5	3	-	1	-	1	6	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
坂	4	3	2	3	53	2	3	1	3	-	-	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草	17	4	1	11	80	2	5	-	3	-	1	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
狭	9	13	2	38	122	14	7	-	8	-	-	53	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川	13	3	1	24	75	16	1	1	2	-	1	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
越	9	8	-	10	30	2	4	-	6	-	2	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
さい	58	16	3	56	311	33	29	1	18	-	5	38	-	3	1	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
( - : 0.00 )	1.41	0.59	0.11	2.07	11.52	1.22	1.07	0.04	0.67	-	0.19	1.41	-	0.38	1.00	1.00	6.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

# 1 鳥インフルエンザを除く

# 2 真菌性を含む

# 3 オウム病を除く

11月 15日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第45週 平成28年11月7日～平成28年11月13日)

	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	283	-	2	9	11	12	22	17	18	8	19	13	42	32	13	18	21	8	9	7	2
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
RSウイルス感染症	114	28	30	41	7	3	3	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	33	-	7	13	2	2	3	2	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	417	2	-	9	6	37	33	43	53	60	42	33	68	6	25	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,530	3	60	195	166	177	168	164	127	83	66	60	131	17	113	-	-	-	-	-	-
水痘	114	2	-	7	6	5	12	32	22	9	9	3	6	1	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	98	-	14	37	16	14	10	3	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	7	-	1	-	-	-	1	2	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	80	2	29	37	9	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	15	-	3	5	2	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	189	-	-	2	3	12	22	36	26	22	26	10	28	-	2	-	-	-	-	-	-
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	24	-	-	4	-	2	2	-	1	-	-	-	-	1	3	1	5	3	2	-	-
合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	3	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	24	-	6	7	4	2	1	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く



# 全国・関東情報 第 43 週

( 10月24日～10月30日 )

平成28年11月16日

インフルエンザの定点当たり報告数は第34週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(11.40)、福井県(1.66)、岩手県(1.08)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は43例と前週と比較して減少し、17都道府県から報告があった。

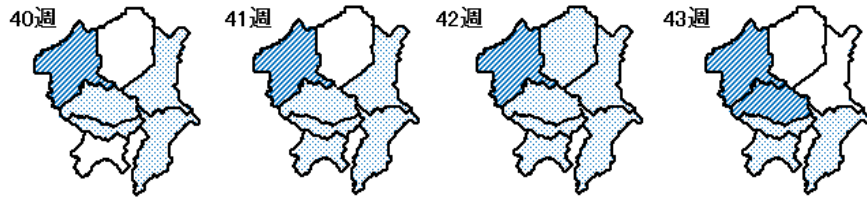
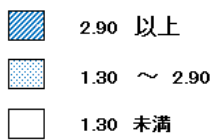
RSウイルス感染症の報告数は5,273例と3週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約73%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は高知県(1.10)、福井県(0.68)、宮崎県(0.61)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(4.43)、鳥取県(3.79)、北海道(3.39)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は広島県(11.11)、島根県(10.91)、大分県(8.81)である。水痘の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は北海道(0.89)、大分県(0.72)、広島県(0.57)である。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(4.64)、鹿児島県(3.42)、熊本県(2.98)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.64)、島根県(0.39)、徳島県(0.39)、愛媛県(0.35)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は新潟県(2.97)、富山県(2.55)、熊本県(2.16)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は群馬県(5.13)、岐阜県(3.80)、青森県(3.00)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は3週連続で増加した。6都県から10例報告があり、年齢別では0歳(2例)、1～4歳(4例)、5～9歳(2例)、10代(2例)であった。

## <関東情報>

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、群馬県(5.13)、埼玉県(2.90)からの報告が多い。

### マイコプラズマ肺炎



		平成28年 43週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	2,329	695	68	73	38	142	96	159	119
	定点当たり	0.47	0.46	0.57	0.96	0.40	0.56	0.45	0.39	0.36
RSウイルス感染症	報告数	5,273	1,091	106	82	66	263	112	302	160
	定点当たり	1.67	1.15	1.41	1.71	1.14	1.63	0.83	1.17	0.75
咽頭結膜熱	報告数	774	181	4	13	13	29	23	63	36
	定点当たり	0.25	0.19	0.05	0.27	0.22	0.18	0.17	0.24	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,343	1,676	129	36	138	317	342	453	261
	定点当たり	1.69	1.77	1.72	0.75	2.38	1.97	2.53	1.75	1.23
感染性胃腸炎	報告数	16,607	5,450	293	273	230	832	639	1,674	1,509
	定点当たり	5.26	5.75	3.91	5.69	3.97	5.17	4.73	6.46	7.12
水痘	報告数	1,170	367	25	10	16	85	49	93	89
	定点当たり	0.37	0.39	0.33	0.21	0.28	0.53	0.36	0.36	0.42
手足口病	報告数	3,352	1,226	82	30	51	181	286	338	258
	定点当たり	1.06	1.29	1.09	0.63	0.88	1.12	2.12	1.31	1.22
伝染性紅斑	報告数	289	78	5	8	8	10	15	25	7
	定点当たり	0.09	0.08	0.07	0.17	0.14	0.06	0.11	0.10	0.03
突発性発しん	報告数	1,425	434	28	28	30	74	55	141	78
	定点当たり	0.45	0.46	0.37	0.58	0.52	0.46	0.41	0.54	0.37
百日咳	報告数	58	14	-	-	2	2	4	3	3
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	0.03	0.01	0.03	0.01	0.01
ヘルパンギーナ	報告数	1,009	250	8	12	21	31	40	90	48
	定点当たり	0.32	0.26	0.11	0.25	0.36	0.19	0.30	0.35	0.23
流行性耳下腺炎	報告数	3,075	724	17	18	30	165	79	187	228
	定点当たり	0.97	0.76	0.23	0.38	0.52	1.02	0.59	0.72	1.08
急性出血性結膜炎	報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	601	232	26	16	13	49	17	27	84
	定点当たり	0.87	1.14	1.53	1.33	0.93	1.20	0.50	0.69	1.79
細菌性髄膜炎 #2	報告数	16	2	-	-	-	-	1	-	1
	定点当たり	0.03	0.02	-	-	-	-	0.11	-	0.10
無菌性髄膜炎	報告数	26	3	-	-	-	-	1	1	1
	定点当たり	0.05	0.04	-	-	-	-	0.11	0.04	0.10
マイコプラズマ肺炎	報告数	691	165	16	2	41	29	16	46	15
	定点当たり	1.46	2.01	1.23	0.29	5.13	2.90	1.78	1.84	1.50
クラミジア肺炎 #3	報告数	4	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	10	5	-	-	-	1	-	4	-
	定点当たり	0.02	0.06	-	-	-	0.10	-	0.16	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

総合トップ

くらし・環境

健康・福祉

しごと・産業

文化・教育

県政情報・統計

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2016年 > 感染症の流行状況 2016年 第45週

感染症発生動向調査 2016年

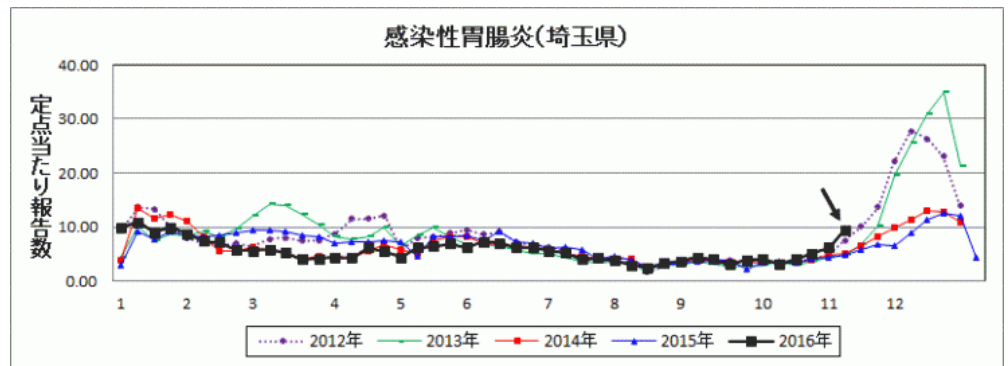
- [感染症の流行状況 2016年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第22週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第23週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第24週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第25週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第26週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第27週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第28週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第29週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第30週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第31週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第32週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第33週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第34週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第35週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第36週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第37週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第38週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第39週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第40週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第41週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第42週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第43週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第44週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第45週](#)

感染症の流行状況 2016年 第45週

2016年第45週（平成28年11月7日～11月13日）の要点 平成28年11月16日

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、前週より大きく増加し、今後の動向には注意が必要です。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↑	★	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	→	★★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	→	★	<a href="#">百日咳</a>	↓	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↑	★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	↓	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↑	★★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	↑	★★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	↑	★★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">手足口病</a>	→	★★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)をご覧ください。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン